



活動場所  
有珠山・外輪山  
参加者  
5年生：13名  
6年生：16名

## 洞爺湖温泉小学校『火山を体験しよう』（1回目） ～火山が起こした自然の変化マップ作り～ 2007年7月10日（火曜日）



### 調査開始

火山を体験しようをテーマに地元、洞爺湖温泉小学校5/6年生の子ども達は有珠山外輪山へ入りました。グループごとに温度計・デジカメを持ちながら不思議に思ったこと、感じたことをワークシートに書き込んでいきます。北屏風山南西尾根では地表の温度を測ると85℃近くありずれた断層を間近に見ることができます。地下にマグマがあり断層がずれるのを知りました。噴火には前兆があり、断層がずれるのもそのひとつです。小有珠南側よりいざ出発！1977年噴火から30年近くたっているのにすでにイタドリやドクノキなどの木々の回復が見られるところもあります。



### 小有珠へ



### 銀沼火口

外輪山内へ入ると早速不思議なものを発見！枯れた木が朽ちた跡の穴です。意外と深く、木が火山灰で埋まっていたことがわかります。また、枯れ木が今なおも地熱で炭化しているのが見られます。五感を働かせて、木の有機物の焦げているにおいを嗅ぎました。地表の温度が高い場所と低い場所での植物の生え方の違いも見ることができます。どんどん歩くと荒涼とした広い大地へ出ます。普段見ている有珠山だけど中には入ったことがなくこの広さにびっくりした様子です。



### 温度を測る

銀沼の火口をのぞくと淵には火山灰や噴石が積み重なってきた地層があります。1977年噴火前の写真を見せると、子ども達から「牛だ～!」という声。昔は沼があり、魚や牛が棲んでいました。「山の頂上がなんで平らなところがあるの?」「実は君たちがいる場所とあそこの平らな部分は同じ位置にあったんだ」大地はダイナミックに動くのです。さらに奥に見える煙は、外輪山内の噴気口地帯。噴気は300℃近くあります。木の焦げるにおいとまた違い、火山性ガスのにおいを嗅ぎました。北屏風山山麓にて有珠山が富士山みたいな形だった1～2万年前の石を見ました。銀沼の周りに落ちていた軽石（火山ガスによって泡だって多孔質になった石）とは違います。有珠山のより古い地層の時代の石も噴火によって飛び出してきたのです。最後に、北屏風山山麓より、洞爺湖と自分たちの住んでいる街を眺めました。洞爺湖はカルデラ湖であり、はるか10万年位前に出来たのです。洞爺湖ビジターセンターに戻り、この一日、グループで感じたことをみんなで振り返りました。火山と共生をしながら、美しい自然を持つ支笏洞爺国立公園に自分たちが住んでいるのを改めて実感し、さらに身近に火山を感じたことだと思えます。



完成したマップは洞爺湖ビジターセンターに展示しました

